

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 2年 2月27日

嶮山小通信

3月号

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

ほんとうにだいじなもの

校長 山口 昭代

新型コロナウイルスの流行が広がってきています。各方面から、感染防止対策のための、イベントや集会活動の中止や自粛、企業の在宅勤務や時差出勤を基本とする方針の表明が出される状況となりました。

厚生労働省の HP (2020年2月24日「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針の具体化に向けた見解」) においても、

○症状のない人も、それぞれが一日の行動パターンを見直し、対面で人と人の距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離)が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされるような環境に行くことをできる限り、回避してください。

○教育機関、企業など事業者の皆様も、感染の急速な拡大を防ぐために大切な役割を担っています。それぞれの活動の特徴を踏まえ、集会や行事の開催方法の変更、移動方法の分散、リモートワーク、オンライン会議などのできる限りの工夫を講じるなど、協力してください。

などと示されました。

さらに、横浜市教育委員会からの予防対策指針の理解、青葉区小学校長会、近隣校の校長先生方との情報交換を行った末に、本校でも、今後3月半ばまでに予定していた様々な行事やイベントの中止、延期、内容の縮小などを行うことを決めました。(2月26日プリント全校配布済み)

本物の素晴らしさに触れてほしくて、あるいは、共通の目的のために、何かを企画したり、計画を立てたりしながら協力してゴールを目指してきたことを断念するのは、とてもつらいことです。梯さんのマネジメントをしてくださっている上海道さんに、この状況をご理解いただいたものの、残念な気持ちはなかなかぬぐえませんでした。また、卒業する6年生に対して、1年生から5年生が、贈りたかった気持ちや言葉を、今後どう伝えていくか、その方法も、新たに考え出す必要が出てきました。

でも、今、私たちは、ここですべてを受け止めて、この環境に適応して参りましょう。戦って、挑んで、勝ったり負けたりするのでなく、近づかず、近づけもしない。感染を遠ざけるための行動選択が、確実にいのちを守ることに繋がっていくことを信じて。

6年生が、サンキューセレモニー(感謝の会)でチャレンジした♪「いのちの歌」(竹内まりや)に

「ほんとうに だいじなものは 隠れて見えない

ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある という一節があります。

<ほんとうにだいじなもの>それは何でしょう。隠れて見えなくても確かにあるもの、私たちはそれをこそ、守り切らなければなりません。今できることに全力を尽くして、希望の春を迎えたいと心から思います。

横浜市立嶮山小学校創立40周年記念の令和元年度が間もなく幕を下ろします。多くの方々のお知恵と善意とご努力によって、子どもたちは、心に残るよい経験をたくさんさせていただきました。校長として感謝の気持ちでいっぱいです。保護者の皆様、地域の皆様、創立40周年記念事業実行委員会、特別委員会の委員様、関係の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。